

きいん組だより

今月のねらいは、【友達と互いに認め合いながら、共通の目的に向かって意欲的に取り組み、一緒に活動する楽しさや充実感を味わう。】
 でした。発表会に向けて、劇の練習や準備に一生懸命取り組む子ども達の様子をご覧ください。 R6・12・27（金）佐藤 菜摘

劇《アリババと宝の山》の練習が進む中、この劇に欠かせない岩の扉を作ることになりました。「岩ってどんな感じ?」「ゴツゴツしてるよね」「硬そうな大きな岩にしたい」「どんな色を作れば岩に見えるかな・・・」などみんなで意見を出し合いながら活動が始まりました。さて、どんな展開になるのでしょうか!

どんな岩にする?



ちょっと紫を足してみた
らどんな色になるかな?

黒と白を
混ぜれば、
灰色になる
はずだよ!

いいね!
やってみよう!

保育士は「え!?紫?大丈夫かな・・・」と、一瞬不安がよぎりましたが、意外と岩に近い色になりました。子ども達は「ほら、岩じゃん!やったね」と喜び合い、段ボールに色を塗っては、また、違う色を足しているいろいろ試しながら活動に取り組んでいまし



筆も面白いけど、手で塗るともっと面白～い

最初は、筆やハケでいいに塗っていましたが、「先生!手で塗ってみてもいい?」と、手で大胆に塗り始めました。そこら中が絵の具だらけになってもお構いなしで、みんな夢中になって取り組んでもう誰にも止められない状態でした(笑)



いい感じ!
ますます岩
っぽくなっ
てきたね!

～みんな発表会で大活躍～



アリババと宝の山の劇は、大成功に終わりました。みんなで小道具等を一緒に考えて作ったことが、子ども達の達成感や満足感につながりました。今回の活動をとおして、同じ目的に向かって一緒に取り組む楽しさや充実感を味わい、みんなで協力し合う大切さを学んでくれました。発表会後も、岩を使ってかくれんぼしたり、お宝を作ったりして遊んでいます。